

**山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催  
第3回緩和ケア看護師教育プログラム 修了後アンケート**

5：大変そう思う 4：ややそう思う 3：普通 2：あまりそう思わない 1：全くそう思わない

回答人数23人

**モジュール1：緩和ケアの概要**

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	16人	6人	1人	0人	0人
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	14人	8人	1人	0人	0人
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか。	18人	4人	1人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味をもてましたか。	15人	7人	1人	0人	0人

**モジュール2：患者の意思決定支援**

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	19人	2人	2人	0人	0人
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	17人	6人	0人	0人	0人
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか。	19人	3人	1人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味をもてましたか。	17人	6人	0人	0人	0人
5) ロールプレイは講義の内容を理解する上で参考になりましたか。	18人	5人	0人	0人	0人

**モジュール3：苦痛緩和**

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	18人	4人	1人	0人	0人
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	16人	7人	0人	0人	0人
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか。	19人	4人	0人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味をもてましたか。	19人	4人	0人	0人	0人
5) ケーススタディは講義の内容を理解するうえで参考になりましたか。	18人	5人	0人	0人	0人

## モジュール4：専門家への橋渡し

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	14人	7人	2人	0人	0人
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	15人	8人	0人	0人	0人
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか。	15人	7人	1人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味をもてましたか。	15人	8人	0人	0人	0人

### 全体について

I. 本プログラムを受講して、早期からの緩和ケアの重要性が理解できましたか。

5. 大変 そう思う	4. やや そう思う	3. 普通	2. あまりそう 思わない	1. 全くそう 思わない
19人	3人	0人	0人	0人

II. 本プログラムの内容は、あなたの期待をどの程度満たしましたか。

5. 大変 満足した	4. やや 満足した	3. 普通	2. あまり満足 していない	1. 全く満足 していない
19人	3人	0人	0人	0人

III. プログラム全体や配布資料についてなど、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・緩和ケアについてたくさんの事を知ることができました。現場で遭遇した場面で今日の事を思い出しながら看護できるようにしたいです。
- ・ロールプレイの振り返りの時間をもう少し確保してほしい。
- ・基本的なコミュニケーションや、薬の作用から応用まであり勉強になりました。日々の看護に活かしていきたいです。
- ・ロールプレイやグループワークなどができてとても楽しい一日でした。今回学んだことを活かしていけたらと思います。
- ・演習を通して包括的な支援の難しさが分かりました。様々なスタッフの視野で見ることが大切だと学んだ。
- ・痛みの治療の目標が具体的に示されているので、記録に残し看護師間の共有と医師へ

の相談がしやすくなると思った。十分理解できていないところを振り返りたい。

- ・ロールプレイや事例検討のグループワークで、講義で学んだことをすぐに実践できたので良かったです。これからの臨床に活かしていきたいです。

- ・ロールプレイを経験して、改めて自分のコミュニケーションの取り方や苦痛を持つ患者さんへの看護師のあり方を学ぶことができて良かったです。

- ・疼痛コントロールで使用する薬剤の量や種類を知れて、すごく勉強になりました。

- ・ロールプレイやディスカッションなどで、自身の看護について振り返るいい機会となった。今後、日々の看護に活かしていきたい。

- ・講義、ロールプレイやグループワークをとおして、緩和ケアについて理解を深めることができた。部署でも今回学んだことを活かせるように日々勉強していきたいと思いました。

- ・ロールプレイでは看護師と患者の立場になり、コミュニケーションスキルを磨いていく必要性を改めて知りました。言語的コミュニケーションや、非言語的コミュニケーションを上手に使い、患者の気持ちに寄り添った看護を行っていこうと思います。これからの看護に活かしていこうと思います。

- ・ロールプレイを通してもっと考えてコミュニケーションをとらないといけない、技術を身につけなくてはならないと感じた。

- ・専門知識も勉強不足と感じた。参加して良かったです。